

### 輸送 中国の新線建設のペースは衰えない

原題: Network expansion continues unabated  
誌名: RGI: Railway Gazette International Vol.175 No.2 (2019-2) pp.50-54

中国鉄路総公司は2018年に8028億元の設備投資を行い、4683kmの新線を開業しました。うち4100kmが高速線で、最高速度350km/hの旅客専用が3路線、250km/hの旅客専用が4路線、200km/hの客貨両用が9路線です。これにより2018年末には総路線キロは13万1000km、うち高速線は2万9000kmとなり、旅客輸送量は前年から2.9億人増加して33.7億人になりました。うち20億人は高速列車の利用者で対前年16%増です。貨物も前年より16%増加して40.2億トンになりました。また、同年に26件の新線建設工事を始めました。2019年に開業予定の新線は6800kmで、うち3200kmが高速線です。旅客輸送量は35.3億人に増えると予測しています。さらに2018年に景気刺激策の一環として、新たに8件の新線建設を承認しました。工費は8600億元です。



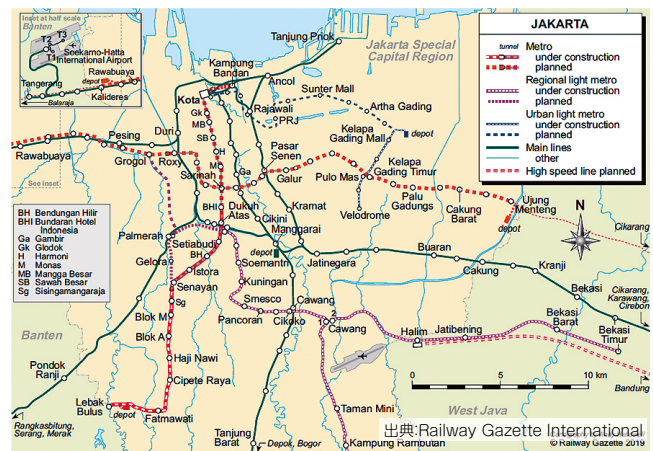
出典: Railway Gazette International

(右) 瀋陽駅で出発を待つCR400BF型高速列車、(左下) 2018年12月29日に開業した承德～瀋陽間の旅客専用高速線

### 輸送 交通渋滞緩和に向けた地下鉄整備

原題: Jakarta targets modal shift  
誌名: RGI: Railway Gazette International Vol.175 No.2 (2019-2) pp.36-38

ジャカルタの交通渋滞は激しく、車の平均速度が10km/hにもなりません。渋滞緩和のために地下鉄整備が進んでおり、3月中旬に市内を南北に結ぶメトロ1号線のうち、16kmを部分開業します。軌間1067mm、直流1.5kV電化で、日本車輛製の6両編成の車両16本を新製しました。混雑時は1つの列車で1900人を輸送可能で、1日当たり17万人の利用を見込みます。開業区間の北半分が地下、南半分が高架です。今年中に北に8km延伸する工事が始まる予定で、2025年度開業をめざしています。この区間は市街地を通るため、地下を走ります。市を東西に結ぶ2号線の調査も終了しており、全長88kmで中心部の33kmは地下を走る計画です。



出典: Railway Gazette International

ジャカルタの鉄道路線図(工事中、計画線を含む)

### 輸送 車両 ルクセンブルクの架線レストラム

原題: Catenary-free through Luxembourg City  
誌名: RGI: Railway Gazette International Vol.175 No.1 (2019-1) pp.46-47

1964年に廃止されたルクセンブルクのトラムは2017年に復活しました。1980年代からトラム再生が議論され、全長16.4kmの路線計画を策定しました。2017年12月に4kmの第1期工事が完成し、営業運転を開始しました。これにつながる1.6kmの2期工事部分は2018年6月に開業しました。この区間は市の中心部で、美しい景観を守るため架線レスで運転しています。車両は最高速度70km/hで編成長45.4m、7車体のUrbos 3形が33編成製作されます。架線レス運転のためにスーパーキャパシタを搭載し、電停で乗降する間に地上から急速充電します。2021年に全線開通の予定ですが、架線レス区間が3.6kmとなります。



出典: Railway Gazette International

ルクセンブルク初のトラム33編成のUrbos 3形車両

### 情報 車内の完全ストリーミング受信が進む

原題: Full stream ahead  
誌名: RGI: Railway Gazette International Vol.175 No.1 (2019-1) pp.48-49

エストニアの新興企業RebelRoamは、車上のWi-Fiネットワークのデータ消費を最適化する技術を開発し、ほとんどの交通輸送



出典: Railway Gazette International

シュタッドラー製FLIRT車両のWi-Fi通信環境を改善したエストニアの鉄道旅客事業者エロン

事業者によってブロックされているビデオストリーミングの可能性を切り開いています。鉄道旅客事業者であるエロンとの試行により、鉄道用途での可能性が明らかになりました。



WRT (海外鉄道技術情報) は海外主要鉄道誌の記事抄録を含め、海外の最新の鉄道技術情報をタイムリーに紹介する季刊誌です。ここに紹介した記事はその一部です。

⇒ 新刊案内、バックナンバーは総研HP (www.rtri.or.jp) をご覧ください。  
⇒ 問合せ (研友社) TEL: 042-572-7157 HP: www.kenf.jp